

日语分级阅读

高级 适用于N2N1级别学习者

赠
音频
日汉对照

心

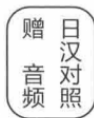
(节选)



日语分级阅读研究组 编



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS



日语分级阅读  第二级
适用于N2N1级别学习者

心

(节选)

日语分级阅读研究组 编



華東理工大學出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

日语分级阅读. 心(节选): 高级: 赠音频: 日
汉对照 / 日语分级阅读研究组编. — 上海: 华东理工
大学出版社, 2022.11

ISBN 978-7-5628-6996-2

I. ①日… II. ①日… III. ①日语-阅读教学-自学
参考资料 IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2022)第188246号

策划编辑 / 王一佼

责任编辑 / 刘 溱

责任校对 / 金美玉

装帧设计 / 王 翔

插 画 / 施 纹

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路130号, 200237

电话: 021-64250306

网址: www.ecustpress.cn

邮箱: zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 杭州日报报业集团盛元印务有限公司

开 本 / 890mm × 1240mm 1/32

印 张 / 2.125

字 数 / 58千字

版 次 / 2022年11月第1版

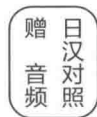
印 次 / 2022年11月第1次

定 价 / 15.00元

版权所有 侵权必究

目录

<small>こころ</small> 心（拔粹）	002
心（节选）	003



日语分级阅读 
适用于N2N1级别学习者

心

(节选)

日语分级阅读研究组 编



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

こころ
心(抜粋)

なつめ そうせき
夏目漱石



扫一扫, 听音频

じょう せんせい わたくし
上 先生と私

わたくし ひと つね せんせい よ
私 はその人を常に先生と呼んでいた。だからここで
せんせい か ほんみょう う あ
もただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは
せけん はば えんりよ ほう わたくし
世間を憚る遠慮というよりも、その方が私にとって
し ぜん わたくし ひと き おく よ おこ
自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごと
に、すぐ「先生」といいたくなる。ふで と こころもち
筆を執っても心持
おな こと かしら も じ つか
は同じ事である。よそよそしい頭文字などはとても使
き
う気にならない。

わたくし せんせい し あ かまくら
私 が先生と知り合いになったのは鎌倉である。その
ときわたくし わかわか しよせい しょちゅうきゆう か りよう
時 私 はまだ若々しい書生であった。暑中 休暇を利用

重点语法

N2 ～というより(も):“与其说……, 不如说……”

心(节选)

上篇 先生与我

—

我一直称呼他为先生。所以在这里我也只用先生二字来称呼他，而不透露他的真名。这并非出于对舆论的忌惮，而是因为对我而言这个称呼更自然些。只要一想起他，我就想称呼他为“先生”。就算执笔书写，心中所想也是一样的。用姓名的首字母称呼他，我可做不到这么生分。

我和先生是在镰仓相遇的。那时我还是个年轻学生。当时有位朋友利用暑假去海边玩，寄给我一张明信片，叫

して海水浴に行った友達からぜひ来いという端書を受け
 と取ったので、私は多少の金を工面して、出掛ける事
 にした。私は金の工面に二、三日を費やした。ところ
 が私が鎌倉に着いて三日と経たないうちに、私を呼
 び寄せた友達は、急に国元から帰れという電報を受け
 と取った。電報には母が病気だからと断ってあったけれ
 ども友達はそれを信じなかった。友達はかねてから国元
 にいる親たちに勧めない結婚を強いられていた。彼は現
 代の習慣からいうと結婚するにはあまり年が若過ぎた。
 それに肝心の当人が気に入らなかった。それで夏休みに
 当然帰るべきところを、わざと避けて東京の近くで遊
 んでいたのである。彼は電報を私に見せてどうしよう
 と相談をした。私にはどうしていいか分らなかった。
 けれども実際彼の母が病気であるとすれば彼は固より
 帰るべきはずであった。それで彼はとうとう帰る事にな
 った。せつかく来た私は一人取り残された。

重点语法

N2 ～ところを：“正当……的时候”

我务必前去。于是我花了两三日工夫筹了些钱，就上路了。然而抵达镰仓还不到三天，把我叫去的朋友突然接到电报，说是母亲生病，叫他赶紧回家。但是朋友并不相信，因为老家的父母一直逼迫他结婚，而按现代的习惯而言，他那个年纪结婚为时尚早，而且安排的结婚对象他并不喜欢。所以本该回乡的暑假，被他用来在东京附近玩耍了。朋友把电报拿给我看，问我该怎么办。我也不知道该如何是好。但是如果他母亲真的病了，他本该回去。所以他最后还是回去了，这样一来，我本是特意赶来这里的，反倒成了孤零零的一个人了。

がっこう じゅぎょう はじ だいい ひかず かま
 学校の授業が始まるにはまだ大分日数があるので鎌
 くら おおつてもよし、かえ 帰つてもよいという きょうぐう 境遇にいた
 わたくし どうぶんもと やど と かくご ともだち ちゅうごく
 私 は、当分元の宿に留まる覚悟をした。友達 は中国
 しさん か むすこ かね ふ じゆう おとこ
 のある資産家の息子で金に不自由のない男であつたけ
 れども、がっこう がっこう とし とし せいかつ ていど
 学校が学校なのと年が年なので、生活の程度は
 わたくし かわ ひどり
 私 とそう変りもしなかつた。したがって一人ぼっちに
 わたくし べつ かつこう やど さが めんどう
 なつた私 は別に恰好な宿を探す面倒ももたなかつたの
 である。

やど かまくら へんび ほうかく たまつ
 宿は鎌倉でも辺鄙な方角にあつた。玉突きだのアイス
 なが なわて ひと
 クリームだのというハイカラなものには長い暇を一つ
 こ て とど くるま い にじゅうせん
 越さなければ手が届かなかつた。車で行つても二十銭
 と こじん べつそう
 は取られた。けれども個人の別荘はそこここに行くつで
 た うみ ちか かいすいよく
 も建てられていた。それに海へはごく近いので海水浴を
 しごくべんり ちい し
 やるには至極便利な地位を占めていた。

わたくし まいにちうみ で か ふる くす かえ
 私 は毎日海へはいりに出掛けた。古い燻ぶり返つた
 わらぶき あいだ とお め いそ お へん
 藁葺の間を通り抜けて磯へ下りると、この辺にこれほ

生词短语

だの：[助]表示列举

离开学还有些时日，我既可以留在镰仓，也可以回家。我决定还是留在原本住宿的地方。朋友是中国地区¹某位资本家的儿子，生活富裕吃穿不愁，但年纪不大又还在上学，所以生活用度和我倒也没什么两样。所以，孤身一人的我也省去了重新寻找合适的住处的麻烦。

旅馆位于在镰仓本地都算得上是偏僻的角落。想要赶时髦去打个台球啦，吃个冰激凌什么的，都得走很长一段田埂。乘车去要花20钱。但这里零零星星建了几座私人别墅，而且离海边很近，洗海水浴极其方便。

我每天都出门下海游泳。穿过一片稻草屋顶被熏得黑乎乎的陈旧的房子，就来到了海滩。来避暑的男女们在沙

1 指日本的中国地区。位于日本本州西部。包括鸟取、岛根、冈山、广岛和山口五县。

どの都会人種が住んでいるかと思うほど、避暑に来た
男や女で砂の上が動いていた。ある時は海の中が銭湯
のように黒い頭でごちゃごちゃしている事もあった。
その中に知った人を一人ももたない私 も、こういう賑
やかな景色の中に裹まれて、砂の上に寝そべてみた
り、膝頭を波に打たしてそこいらを跳ね廻るのは愉快
であった。

私 は実に先生をこの雑沓の間に見付け出したのであ
る。その時海岸には掛茶屋が二軒あった。私 はふとし
た機会からその一軒の方に行き慣れていた。長谷辺に大
きな別荘を構えている人と違って、各自に専有の着換場
を拵えていないここいらの避暑客には、ぜひともこうし
た共同着換所といった風なものが必要なのであった。彼

生词短语

寝そべる (ねそべる): ③[自动1]横卧, 俯卧

構える (かまえる): ③[他动2]修建, 成家, 开店;
摆出(架子、态度等); 捏造

拵える (こしらえる): ①[他动2]制作; 筹措; 获得(友
人等); 捏造

滩上活动，让人讶异居然有这么多城里人住在这里。有时海里浮着许多黑色的脑袋，像大澡堂一样拥挤。我虽然孤身一人，但也纵情享受这喧闹的氛围，或躺在沙滩上，或四处蹦蹦跳跳，任凭潮水拍打自己的膝盖。

我就是在这片喧闹中发现先生的。当时海岸边有两家茶棚。一个偶然的机，我成了其中一家的常客。除了那些在长谷拥有大别墅的人，一般来避暑的游客是没有各自专用的更衣室的，必须使用这种公共更衣室。他们除了在这里喝茶、休息，还在这里洗洗泳衣，冲洗沾了海水的身体，寄存帽子、伞什么的。我虽然没有泳衣，但也担心随身物品

らはここで茶を飲み、ここで休息する外に、ここで海水着を洗濯させたり、ここで鹹はゆい身体を清めたり、ここへ帽子や傘を預けたりするのである。海水着を持たない私にも持物を盗まれる恐れはあったので、私は海へはいるたびにその茶屋へ一切を脱ぎ棄てる事にしてた。

二

私 がその掛茶屋で先生を見た時は、先生がちょうど着物を脱いでこれから海へ入ろうとするところであった。私 はその時反対に濡れた身体を風に吹かして水から上がって来た。二人の間には目を遮る幾多の黒い頭が動いていた。特別の事情のない限り、私 はついに先生を見逃したかも知れなかった。それほど浜辺が混雑し、それほど私の頭が放漫であったにもかかわらず、私がすぐ先生を見付け出したのは、先生が一人の

重点语法

㉒ ～ない限り：“只要不……，就……”

㉒ ～にもかかわらず：“尽管……，还是……”

被偷走，所以每次下水玩耍前都会把所有东西寄存在这间茶棚里。

二

我在这间茶棚遇到先生时，他刚脱好衣服准备下水。我则正相反，刚从海里上岸，正借着海风吹干湿漉漉的身体。我们之间人头攒动，遮蔽了视线。正常情况下，我也许就会和他擦肩而过了。海滩是如此喧闹，我又是如此心不在焉，但我却立刻注意到了先生，这是因为他陪着一个人。

せいようじん つ
西洋人を伴っていたからである。

せいようじん すぐ しろ ひ ふ いろ かけちゃや はい
その西洋人の優れて白い皮膚の色が、掛茶屋へ入るや
いな わたくし ちゆう い ひ じゅんすい にほん ゆかた
否や、すぐ 私の注意を惹いた。純粹の日本の浴衣
き かれ しょうぎ うえ ほう だ
を着ていた彼は、それを床几の上ですぼりと放り出し
たまま、うでぐ 腕組みをして うみ ほう む た かれ
海の方を向いて立っていた。彼
われわれ は さるまたひと ほかなにもの はだ つ
は我々の穿く猿股一つの外何物も肌に着けていなかった
わたくし だいいちふ しぎ わたくし ふつか
た。私にはそれが第一不思議だった。私はその二日
まえ ゆい はま い すな うえ なが
前に由井が浜まで行って、砂の上にしやがみながら、長
あいだせいようじん うみ はい ようす なが わたくし しり
い間西洋人の海へ入る様子を眺めていた。私の尻を
ところ すこ こだか おか うえ わき
おろした所は少し小高い丘の上で、そのすぐ傍がホテ
うらぐち わたくし じつ あいだ
ルの裏口になっていたのも、私の凝としている間に、
だいぶ おお おとこ しお あ で き どう
大分多くの男が塩を浴びに出て来たが、いずれも胴と
うで もも だ おんな ことさらに く かく
腕と股は出していなかった。女は殊更肉を隠しがちで
たいてい あたま ゴムせい ずきん かが え び ちゃ
あった。大抵は頭に護謨製の頭巾を被って、海老茶や
こん あい いろ なみ ま う ありさま もくげき
紺や藍の色を波間に浮かしていた。そういう有様を目撃

那个洋人皮肤雪白，一进茶棚就吸引了我的注意。他穿着一件地道的日本浴衣，脱下来往长凳上一甩，就抱着胳膊面朝大海站着。除了我们穿的那种裤衩以外，他身上什么也没穿。这是我首先觉得诧异的地方。两天前我去了由井滨，蹲在沙滩上，很长一段时间都在看洋人下水。我坐在略高的沙丘上，旁边就是一家宾馆的后门，就在我观望的时候，很多男人出来洗海水浴，却没有人把躯体、胳膊和大腿裸露在外。女人们更是把身体遮得严严实实。几乎每个人都戴着橡胶头巾，海浪间因此漂浮着绛紫色、藏青色、天蓝色。才刚见过这幅情景的我，看到众目睽睽中只穿着一条裤衩站着的洋人，觉得实在是稀罕。